

---

# 母の日

龍斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

母の日

### 【著者名】

龍斗

N1256T

### 【あらすじ】

<http://ameblo.jp/ryuuto-inazu-ma/entry-10885651143.html>

と重複投稿。

5月8日、「母の日」

母親を失った者が多いイナズマジャパン。

マネージャーの少女、冬花もまた、切ない想いを持っていた。

(前書き)

ゆの口。思ひ切つて書いてみました。

日本代表・イナズマジャパンがFFFで優勝して、一年が経とうとしていた。

今日は5月8日、『母の日』である。

イナズマジャパン寮。

冬花は、自分の部屋で夜空を眺めていた。

月光の晒す元、青い鳥達が、アヤメの花畠を飛んでいた。そして風が冬花の髪を反らす。

「……」

冬花が静かに空を見上げていると、久遠道也が入ってきた。

「どうした、冬花」

「お父さん…。

今日は5月8日、『母の日』。

だけど、私にはお母さんが居なくて…毎年この日になると「くくなつたお母さんのことを考えるの…」

グラウンドでは、縁川と栗松を加えたイナズマジャパンと、チーム・ガルシルドが練習試合をしていた。

「そうか。お前も、そんなことを考えていたのだな。

」の日本代表・イナズマジャパンは、多くの者が母親を失っている。

攻撃の要である豪炎寺・鬼道・吹雪・基山。豪炎寺以外は父親も

居ない。

Hイリア学園や漫遊寺中学は、身寄りの無い子供たちが集まっている。緑川、木暮。

マネージャーであるお前や夏末、音無。

今対戦をしているチーム・ガルシルドも孤児達の集まりだ

「でも、お母さんがない……」

冬花は俯く。

「だが、まつすぐここ、前に進んでいる。

共に戦える『仲間』がいるからだ、

亡くなつた親達が天国で見ていると信じてゐるからだ

「仲間がいるから…信じてるから…」

グラウンドに立つイナズマジャパンやチーム・ガルシルドは、皆笑つてこる。

仲間と共にサッカーを楽しんでこる。

ベンチに座つている夏末や音無も必死に応援をしている。

「嗚呼、やつだ。俯いて居ないで、笑つていけ！」

青い鳥は幸せの鳥。

お前の誕生日、この間の5月3日の誕生花、あのアヤメの花言葉は『信じるもの幸福』。

どれも濃さが違つが、お前の髪と同じ青紫の色だ。

その長い髪は、お前の母親ゆづりしこ

冬花は、自分の長い髪を見る。綺麗な青紫色の髪。

「お母さんもすここの青紫色の髪……」

「嗚呼。その髪は、お前と母親の絆の証だ」

冬花は、次に机の上に置いてある小さなクマのぬいぐるみを見た。  
冬花の両親が亡くなつた日と同じく、思い出のぬいぐるみ。

「絆の証……うん、そうだよなー」

「私、応援に行ってくるー。信じ合える仲間達の応援にー。」

冬花は部屋を飛び出し、グラウンドへ駆けていった。

今、鬼道と吹雪と基山が「ビッグバン」で点を決めたところだつた。

「アッシュも大きくなつたな…」

フッ、と微笑み、道也も部屋を出て行つた。

アヤメの花が風に揺れる。青い鳥が舞う。

そして冬花の青紫の髪も、揺れていた。

今日は5月8日、「ぬの日」

彦根城のたこ焼き屋さんを通つたとき、

春奈と春奈の両親の思に出の味、たこ焼きを隠して出して、や  
やうにえば今日は母の日だから、母さんがいないキャラクターなど  
気付いた。

で、メビで話題になつて、小説書いつつ。

だけど春奈にしなかつたのは皿口満咲。

その所為で「青」は出来なかつたけどね。なんとか「青紫」つ  
てことで共通點を。

「幸せ 花言葉」で調べると一度いこものが。

誕生花としては違うけれど、「5月3日」を冬花の誕生日に設定。

あと、最近「花鳥風月」気になつた。

セリに青い鳥とアマメを思つて……。

俺は父さんも母さんも居るし、弟もいる。

血の繋がりが強い家族で亡くなつた人は居ない。

だけばイナイレのキャラは何故か親を亡くした奴が多い。

気にしてなによく見えて、絶対内心気にしてる。

だけど信じ合える「仲間」がいるから前に進めてるんだと思いま  
す。

そして当たり前のよう親が居ることに感謝！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1256t/>

---

母の日

2011年9月13日21時12分発行